

# 教委だより

No.429



令和2年9月30日

編集発行 富山県教育委員会  
発行人 教育企画課長



なぎなた競技 8/10 南砺市福野体育館

## TOYAMA2020高等学校スポーツ交流大会

TOYAMA2020 高等学校スポーツ交流大会が7月23日(木)～8月23日(日)の日程で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止された県高校総体の代替大会として、25の競技で熱戦が繰り広げられました。各競技においては、新型コロナウイルス感染防止の対策を十分に講じた上で、運営方法も例年とは異なる大会となりましたが、特に3年生は高校3年間の集大成として、全力で競技する姿が各会場で見られました。

### Contents (主な内容)

- |                          |    |                                    |     |
|--------------------------|----|------------------------------------|-----|
| ● TOYAMA2020高等学校スポーツ交流大会 | 1p | ● インフォメーション                        | 10p |
| ● TOYAMA2020高等学校野球大会     | 2p | 特別展「BONE(骨)」-貝塚で知る生命の証-            |     |
| ● TOYAMA2020中学校スポーツ交流大会  | 3p | 第32回富山県高等学校文化祭                     |     |
| ● 永年勤続教職員等表彰式            | 4p | 第32回県民カレッジ学遊祭                      |     |
| ● 放送大学教員免許更新講習受講生の募集     | 4p | 第20回新川キャンパスフェスティバル                 |     |
| ● とやま親学び推進協議会開催          | 4p | 令和2年度富山地区センター学遊祭                   |     |
| ● 埋蔵文化財センター出前講座          | 4p | 令和2年度ウイング・ウイング祭(県民カレッジ高岡地区センター学遊祭) |     |
| ● 学校レポート(舟橋村立舟橋小学校)      | 5p | 第20回となみキャンパスフェスティバル                |     |
| ● 総合教育センターNOW            | 6p | ● みんなで食育の充実を                       | 11p |
| ● SOSの出し方に関する教育のすすめ      | 7p | ● ストレスチェックについて                     | 11p |
| ● 教育環境のデジタル化について         | 8p | ● 第37回「とやま賞」贈呈式                    | 12p |
|                          |    | ● リレーエッセイ(富山県小学校長会長)               | 12p |

## TOYAMA2020高等学校野球大会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第102回全国高等学校野球選手権大会・同県大会が中止になったことに伴い、TOYAMA2020高等学校野球大会が「今まで育成した3F（フェアプレー、フレンドシップ、ファイト）の精神を表現する場とする」という大会目的のもと、7月23日（木）から8月11日（火）まで開催されました。

特に最後の夏となる3年生を中心とする野球部員がこれまで積み重ねてきた日頃の練習の成果を発揮する機会として、各会場で熱戦を繰り広げました。



閉会式（表彰）の様子 8/11 富山市民球場

## TOYAMA2020高等学校スポーツ交流大会 各会場熱戦の様子



柔道競技 8/8 新湊アイシン軽金属スポーツセンター



ボート競技 8/1 富山県漕艇場



体操競技 8/8 富山市総合体育館



ライフル射撃競技 8/9・10 富山県福光射撃場



相撲競技 8/2 グリーンパーク大門



卓球競技 8/2 富山県総合体育センター



ソフトボール競技 8/1・2 岩瀬スポーツ公園



ソフトテニス競技 8/5・6 高岡スポーツコア

## 「笑顔あふれた代替大会」TOYAMA2020中学校スポーツ交流大会



バドミントン競技



剣道競技



サッカー競技



バスケットボール競技



バレーボール競技



陸上競技

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、令和2年度全国中学校体育大会、第41回北信越中学校総合競技大会、第58回富山県中学校総合選手権大会、各地区選手権大会が中止となりました。しかし、6月より各中学校で部活動が再開し、今まで努力してきた3年生に活躍の場を提供してあげたいと各地区で代替大会の計画が検討され、7月23日(木)～26日(日)に県内全域にて開催することができました。

3年生が一生懸命競技に打ち込む姿や、試合後にあふれるたくさんの笑顔が印象的でした。

## 永年勤続教職員等表彰式

令和2年度永年勤続教職員等表彰式が、7月1日県民会館で行われました。

県全体では、勤続年数30年が300名、勤続20年が124名、合計424名が表彰を受け、その代表者に表彰状が授与されました。

教育長は、式辞で「今日、教育県富山として全国から高い評価をいただいているのも、ひとえに皆様方の永年にわたる努力と熱意の賜物と、心から感謝します。また、皆様方の輝かしいご活躍を陰で支えてこられましたご家族の方々に対しても、敬意を表します。新型コロナウイルス感染症の全国的拡大により、様々な課題に対して適切に対応することが求められています。それには、教育現場の第一線で活躍されている皆様方が、豊富な知識と経験を活かしつつ、広い視野と見識をもって、その能力を十分に発揮され、日々の業務に積極的に取り組まれることが何よりも重要です。」と謝意を表しました。

これに対して、富山中部高等学校の本江孝一校長が、代表として謝辞を述べられました。



## 教員免許更新講習 受講生募集

**申込期間** 10月23日(金) 15時 ~ 11月20日(金) 9時 〈講習料/1科目 6,000円〉

**受講期間** 2月1日(月) 10時 ~ 2月18日(木) 17時

※ 更新に必要な30時間全てインターネットで受講可能(栄養教諭を除く)

**試験日** 2月27日(土) または2月28日(日)

※ 申込時に選択したいいずれか1日

**申込方法** 放送大学ホームページから申込 申込はこちらからもできます。▶

**問合せ先** ☎0766-56-9230

※ 新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、上記日程は変更になる可能性があります。



## 第1回 とやま親学び推進協議会を開催



第1回とやま親学び推進協議会

家庭の教育力の向上を目指した「親を学び伝える学習プログラム」を活用した「親学び講座」は、小・中学校を中心に、幼稚園・保育所・認定こども園、さらには0~2歳児の保護者にまで拡大して開催され、昨年度は年間の参加者数が約4万2千人となりました。

7月9日(木)に開催した「第1回とやま親学び推進協議会」では、県P連及び地区P連をはじめ、関係機関の代表者が集まり、「新型コロナウイルス感染症の影響下における親学び推進事業のあり方」について協議しました。

## 埋蔵文化財センター 出前授業

埋蔵文化財センターでは、小・中学生、高校生などを対象に、出前授業を実施しています。授業では、県内の遺跡から出土した本物の縄文土器や弥生土器などにふれることができるほか、火起こし体験や、まが玉づくりなどの考古体験をとおして古代の人々の技や暮らしを学びます。

考古学の専門職員と社会教育主事が学校の学習のねらいや要望に合わせた授業を行います。出前授業は随時受け付けております。ぜひ、社会科や歴史、総合的な学習の時間にご利用ください。



出土品にふれる児童

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

## 学校レポート

# 「日本一ちっちゃな村の 日本一元気な小学校」

～意欲と笑顔があふれる学校～

舟橋村立舟橋小学校

Funahashi Village Funahashi Elementary School

日本一小さな村「舟橋村」唯一の小学校、舟橋村立舟橋小学校は、明治時代から続く歴史のある小学校です。

舟橋小学校では、「自ら考え」「共に学び合う」子供の育成を目指し、目的を明確にして書く、話し合うという「言語活動」と共に、実物にさわる、実感するという「直接体験」をととても大切にしています。

今年度は、コロナウイルス感染症防止対策をとりつつ、地域と連携したボランティア活動や農園での活動、季節を感じながら学ぶ冬の宿泊学習や校外学習等、特色ある活動をたくさん計画しています。7月には、6年生がふるさと富山を感じながら学ぶ夏の宿泊学習と室堂散策をしました。このような直接体験の機会を豊かにすることは、子供たち一人ひとりが、感動したり驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考えを深め、その知識をもとによりよい生活を創り出すことにつながっています。

学校を訪れると絶滅危惧種トミヨが飼育されていました。このトミヨは、平成26年にメダカの生息調査活動を行っているときに校区の用水で子供たちが発見したそうです。大発見の感動が子供たちの生きものや自然環境への関心をさらに高め、用水の清掃活動や水草を増やす活動などへとつながりました。また、地域にホタルを取り戻す活動にも取り組みました。(平成27年～29年には、「富山県やせいの生きものふれあいモデル校」に指定)ふるさととの自然環境を考える活動は、伝統となり、現在も後輩に引き継がれています。今年の2月には、サケの稚魚が4年後にふるさと川へ戻ってくることを期待しながら近くの用水に放流しました。

どの活動もすぐに成果が現れるわけではありませんが「計画→活動→失敗→その原因の考察→動きかけ」を繰り返し行うことで、子供たち一人ひとりの思いが詰まった「自ら考え」「共に学び合う」活動となっています。そして、子供たちの姿は、地域や行政を動かすきっかけとなり、ふるさととの未来を考える地域活動へと広がっています。



6年生の室堂散策の様子



ホタルを取り戻す活動の様子



舟橋中学校との合同学習の様子



ハーティ会食の様子

また、舟橋小学校は、隣接する舟橋中学校と連携し、小中一貫教育に取り組んでいます。(平成28年度～30年度 文部科学省委託「小中一貫教育推進事業」)

9年間を通して、学びの型「ふなはし『学び合い』スタイル」を同じにすることで、子供たちがスムーズに進学できるような環境を作り、また、子供のよさを見付け、伸ばし、各学年で目指す人間性を育む取組がすすんでいます。

様々な小中合同学習に参加して、小学生は、将来の成長した自分の姿を重ね合わせることで「新たな気付き」をたくさん感じ、中学生は、自らの成長を実感し、自己有用感をもつことができたようです。

この小中連携の取組は現在も継続しており、小学生は秋に予定している中学生による読み聞かせを楽しみにしているそうです。

また、「ハーティ活動(縦割り活動)」や「おはよう集会(月1回の児童集会)」も舟橋小学校の伝統の一つです。児童会活動や清掃活動、各種行事等を全校児童が協力して行います。

上級生と下級生が立場の違う相手を意識したコミュニケーションを考え、お互いを思いやりながら、自分ができることをしっかり行う活動から得られるものはとても大きいのではないかと思います。

訪問した7月31日、畑には真っ赤なミニトマトが育ち、プールには、冷たくて気持ちよさそうな水がいっぱいはられていました。先生方の様々な工夫が、元気いっぱいの子供たちの活動を支えているのだとあらためて感じました。

友だちと一緒にうれしそうな表情で学ぶ子供たちの姿、その姿を愛おしそうに見つめる先生方の姿が印象的でした。学校にあふれる意欲と笑顔のエネルギーが舟橋小学校のさらなる輝きにつながっていくように感じました。

# 総合教育センター NOW

## 教育研修部

## 調査研究事業 研究協力校校内研修

令和2年度の調査研究事業が始まっています。研究協力校には週に1日、現職教員の富山大学教職大学院生が実習として参加し、教育研修部・教職大学院と情報を共有しながら、学校にとって役立つ研究になるよう取り組んでいます。

7、8月は4回にわたって、2校の研究協力校にて「資質・能力を育む主体的・対話的で深い学び」をテーマに校内研修を実施させていただきました。熱心な先生方のおかげで充実した研修会となりました。

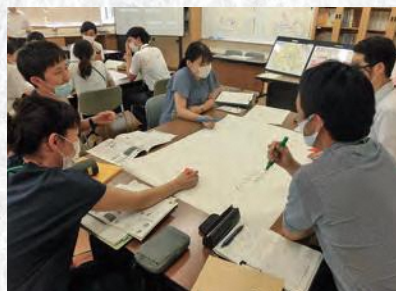
参加者からは、「子供が主体的に取り組むことができる授業を展開したいと強く思いました」「自分自身がその教科の見方・考え方、単元の本質について理解するためにも、しっかり学び続けていきたい」という意欲的な感想が数多く寄せられました。



国語科の単元を構想する



「主体的な子供」を育むには？



「もののとけ方」の本質を探る

## 科学情報部

## 情報活用能力の育成研修会（ICT活用コース）

8月3日（月）に情報活用能力の育成研修会（ICT活用コース）を実施しました。

受講者は、教員免許状更新講習対象の方が18名、それ以外の方が25名でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、富山県総合教育センターには、教員免許状更新講習対象の方のみに集まっていただきました。

午前は情報モラル指導と著作権についての研修、午後は信州大学 助教 佐藤和紀先生の講義とOffice365の演習を行いました。

佐藤先生の講義は大学からオンラインで配信していただき、教員免許状更新講習対象以外の先生方にも各勤務校にて受講していただきました。内容は、主にオンラインによる授業の意義とG Suiteの機能を使った協働学習の紹介等でした。オンラインによる講義の実施では、いくつかの技術的なトラブルはあったものの全体としてはスムーズに進めることができました。

受講者のアンケートでは、「具体的な実践例を教えてください有意義だった」「体験できたことを、「現場でやってみようかな」と思えた」などの感想が寄せられました。



佐藤先生によるオンライン講義



G Suiteの機能を使った協議

## 教育相談部

## 学校支援訪問研修（サテライト）

特別支援教育担当では、特別支援教育に関する教師の指導力の向上を支援するため、市町教育センター等の要請に応じてサテライト研修を行っています。

5月12日（火）に通級指導教室担当者研修会「自立活動の指導について～目標と指導内容の設定～」を実施しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、要請のあった教育センターと相談の上、各受講者は勤務校のパソコンで、ナレーションが入ったパワーポイント動画を見ながらの研修としました。児童生徒の教育的ニーズを踏まえた自立活動の指導力を高めることをねらいに、児童生徒の実態から目標や具体的な指導内容を設定するポイント（図1）について、演習を通して学びました。また、通級の指導に関わる情報提供も行いました。

受講者からは、「収集した情報から3つの視点で実態を整理することで、指導目標や指導内容が考えやすかった」「目標や指導内容を考える手順が明確になり分かりやすかった」「自分のペースで理解できるまで聞き返すことができ、とてもよい研修となった」などの声が聞かれました。

### 3つの視点で実態を整理

自立活動の区分で

生活上・学習上の困難について

○年後の姿について

いろいろな方面から  
児童生徒の困難を捉える

図1 目標や指導内容を設定するポイント

# 特集

## 「SOSの出し方に関する教育」のすすめ

～子供が悩みを抱えたときに、助けを求めることができる。  
そして、身近な大人や友人が、それを受け止めることができる。～

### <児童生徒の自殺予防に係る取組について>

児童生徒の自殺予防については、これまでも自殺対策基本法（平成18年法律第85号）等に基づき、学校において、様々な方法で積極的に取り組んでいただいているところです。

今回の特集では、法第17条第3項に定める「困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付ける等のための教育（SOSの出し方に関する教育）」を実施するためのポイントをまとめました。各学校において「SOSの出し方に関する教育」を年1回実施するなど、積極的に推進していただくようお願いいたします。

### <「SOSの出し方に関する教育」を実施するポイント>

#### ポイント 1

子供の最も身近な存在である担任教師等が、養護教諭、スクールカウンセラー等とチームティーチングで実施することで、**その後の個別相談につながりやすいメリットがあります。**



地域の保健師、社会福祉士、民生委員等と連携することも有効です。

**Q1** 外部講師を招いて「SOSの出し方に関する教育」を行う上での留意点はありますか？



**A1** 地域の専門家等を外部講師に招いて「SOSの出し方に関する教育」を実施することは、具体的なイメージを描く上でも効果的です。学校の実態等に合わせた教育内容となるように、事前に十分な打合せを行うことが求められます。



#### ポイント 2

誰にどうやって助けを求めればよいのか**具体的かつ実践的な方法を身に付けるように指導します。**



「24時間子供SOSダイヤル」等の学校内外の相談窓口の周知も大切です。

**Q2** 「SOSの出し方に関する教育」を実施する上での留意点はありますか？



**A2** 苦しい状況に追い込まれ、深刻に思い詰めることは、長い人生の中で多くの人に起こり得ることを説明します。そのような状況になった時に、危険を示すサインの出し方や、それを乗り越える様々な方法を学ぶことが重要である点を強調することが大切です。



#### ポイント 3

実施する場合は、**児童生徒の発達段階に応じた内容にすることが重要です。**



学校の実情に合わせて、教材や授業方法の工夫が大切です。

**Q3** 「SOSの出し方に関する教育」はいつ（どの学年で）やればいいのでしょうか？一度だけやればいいのですか？



**A3** 相談することの大切さを実感することや、援助機関のことを知ること、悩んだり困ったりしている友達に寄り添うことの大切さや、そのための行動について学ぶことは、小学校・中学校からでも十分可能だと考えます。



#### ポイント 4

心の危機に陥った友人への**関わり方を学ぶことが重要です。**



SOSの出し方のみならず、SOSの受け止め方についても教えることが望ましいです。

子供に身につけてほしい態度や行動は、短時間でも、折に触れ思い出したり、実感したりすることによって、生涯にわたって危機に対処するための土台を築くことにつながります。

「SOSの出し方に関する教育」の基盤として、教師が子供の些細な言動から、個々の置かれた状況や、心理状態を推し量ることができる感性を高めることが大切です。困ったときには何でも相談ができる教師と生徒の人間関係づくり、相談しやすい雰囲気づくり、保健室や相談室などを利用しやすい居場所づくりなど、子供の心に寄り添う「校内の環境づくり」が重要です。また、教師同士や、教師と関係者間の合意形成を図ることも重要になります。

「SOSの出し方に関する教育」の指導内容例等は、「富山県教育委員会小中学校課」のホームページでダウンロードすることができます。



小中学校課HP ▶

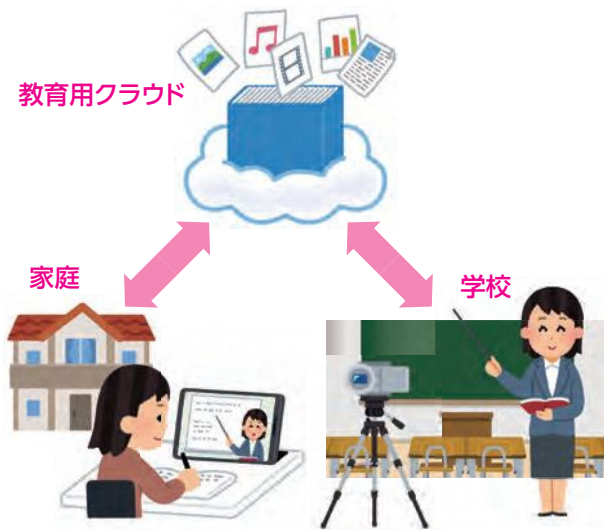


# 教育環境のデジタル化について

本県においても、4月からの約2か月間、国の緊急事態宣言を受けて各学校が臨時休校となりましたが、今後、いかなる時（通常時・災害や感染症による臨時休校時等）でも「子供たちの学びを保障」するために、ICTを活用した教育の具体例について紹介したいと思います。

これまで蓄積された教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出し、さらなる質の高い富山県の教育を目指しましょう。

## ★新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、災害等で「臨時休校」になった場合



### (1) オンラインで授業を実施

- ・授業をリアルタイム方式で実施（双方向型）
- ・録画された授業動画をオンデマンド方式で実施

### (2) 課題のやり取り

- ・教員は課題を配信し、児童生徒に連絡
- ・児童生徒は課題を受領して取り組み、クラウド経由で提出

### (3) クラス全員でHR（ホームルーム）を実施

- ・朝HRで連絡（生活リズムが整う）
- ・双方向接続により児童生徒の顔を見て会話可能

### (4) 児童生徒と教師が面談

- ・学習や進路に関する相談の実施
- ・会話によって児童生徒に安心感を与えられる。

### (5) 連絡や情報を共有

- ・時間割や分散登校計画などを配信
- ・提出物やアンケートの連絡

## ★遠隔・オンライン教育の分類

（文部科学省「遠隔教育システム活用ガイドブック」より）

### A 多様な人々とのつながりを実現する

**A1** 遠隔交流学習（離れた学校とつなぎ児童生徒同士が交流し、互いの特徴や共通点などを知り合う。）

**\* A2** 遠隔合同授業（他校の教室とつないで、継続的に合同で授業を行うことで、多様な意見に触れたり、コミュニケーション力を培ったりする機会を創出する。）

### B 教科等の学びを深める

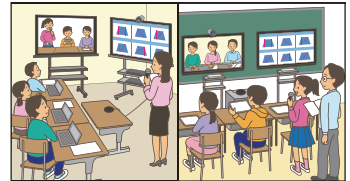
**\* B1** ALTとつなぐ（他校等にいるALTとつないで、児童生徒がネイティブな発音に触れたり、外国語で会話したりする機会を増やす。）

**B2** 専門家とつなぐ（博物館や大学、企業等の外部人材とをつなぎ、専門的な知識に触れ、学習活動の幅を広げる。）

**\* B3** 免許外教科担任を支援する（免許外教科担任が指導する学級と、当該教科の免許状を有する教員やその学級をつなぎ、より専門的な指導を行う。）

**\* B4** 教科・科目を充実する（高等学校段階において、学外にいる教員とつなぐことで、校内に該当免許を有する教員がいなくても、多様な教科・科目を履修できるようにする。）

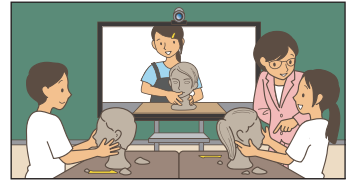
\* A2



\* B1



\* B3



\* B4





## C 個々の児童生徒に対応する

- C1 日本語指導が必要な児童生徒を支援する（外国にルーツをもつ児童生徒等と日本語指導教室等をつなぎ、日本語指導の時間をより多く確保する。）
- C2 個々の理解状況に応じて支援する（個々の児童生徒と学習支援員等を個別につなぎ、児童生徒の理解状況に応じて、学習のサポートを行う。）
- \* C3 不登校の児童生徒を支援する（自宅や適応指導教室等と教室をつないで、不登校の児童生徒が学習に参加する機会を増やす。）
- C4 病弱の児童生徒を支援する（病室や院内分教室等と教室をつないで、合同で授業を行うことで、孤独感や不安を軽減する。）



## ★授業〈各教科等〉でのICTの活用例

教科	活用事例
(1) 国語	万葉集の学習において、高志の国文学館とオンラインでつなぎ、元号「令和」の由来となった「梅花の宴」について学芸員に質問し、解説を受ける。
(2) 地歴・公民	森林保全の課題学習において、ホームページで森林に関して調べる。森林組合員からオンラインで聞き取り調査を行い、地図やグラフでまとめる。
(3) 算数・数学	最大値・最小値に関する問題において、各班の考えをタブレットに表し、画面共有機能ですべての班の考えをスクリーンやタブレットに表示し、比較する。
(4) 理科	物理実験において、台車に取り付けたセンサーの測定データを無線でリアルタイムでタブレットに取り込み、表・グラフ化。各班の結果を比較し、考察する。
(5) 保健体育	動画サイトから一流選手の動作をタブレットで視聴してから試行。運動の様子を児童生徒が相互に撮影。その場でスロー再生で確認し、次の試行に応用する。
(6) 芸術	美術の「鑑賞」において、ルネサンス美術の絵画「ヴィーナスの誕生」の画像を鑑賞し、作者や時代背景などをインターネットで調べ、理解を深める。
(7) 外国語	児童生徒が英語を話す場面を相互に撮影し、後で確認し振り返る。遠隔地のALT（外国語指導助手）から英会話の個人指導を受ける。
(8) 家庭	調理実習において、後方の児童生徒は指導者の手元が見えづらいが、指導者の手元を撮影しタブレットに表示することで、全員が最前列にいるように観察できる。
(9) 情報	「今年の富山は本当に暑かったのか」について、気象庁のオープンデータを利用して表計算ソフトで分析及びグラフ機能で可視化し、検討結果をレポートやスライドにまとめて発表する。

## ★授業以外の場面におけるICTの活用例

- (1) 教師と児童生徒との面談（家庭と学校をつなぎ、自宅にいる児童生徒と面談する。）
- (2) 学校行事（生徒総会などで議案の説明や採決、まとめを即座に行い、大型提示装置で大画面に投影することで全校生徒に提示する。）
- (3) 部活動（フォームを撮影し、すぐに確認する。遠隔地の外部コーチから指導を受ける。）
- (4) 集会（夏場の気温の高い体育館に密集せず、生中継される講話を各教室で視聴する。）
- (5) 各自に応じた教材配信（児童生徒が各自の理解度に応じた教材を選択して取り組む。）

# インフォメーション

開催場所 開催内容 対象 募集人数 応募要領  
 募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

入場  
無料

富山県埋蔵文化財センター

☎076-434-2814

特別展 「BONE<骨>」 一貝塚で知る生命の証一

期日 10月2日(金)～令和3年3月7日(日) 9:00～17:00

日本海側最大級の貝塚・小竹貝塚から、6,000年の時を超え、私たちの目の前に現れた骨・骨・骨！天然のタイムカプセルから出土した骨からは何がわかるのか！これまでの研究成果を踏まえつつ、小竹貝塚から出土した人や犬をはじめとする動物、魚などの骨を展示し、骨から縄文時代の人々の歴史や環境、くらしを探ります。



28号人骨【小竹貝塚】

入場  
無料

富山県高等学校文化連盟（県立高岡高校内）

☎0766-29-2530

第32回 富山県高等学校文化祭

期日 11月13日(金)～11月15日(日)  
13・14日 9:00～17:30 / 15日 9:00～16:20

富山県民会館 無料  
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場を制限する場合があります。)

県内の高校生が、日頃の文化活動の成果を発表します。11/14(土)午前10時からの合唱や郷土芸能の発表をはじめ、絵画や書道、写真の展示発表等、高校生の瑞々しい感性と優れた創造力をご覧いただく絶好の機会です。感染症対策のためマスク着用の上、ぜひご来場ください。



第31回富山県高等学校文化祭から

入場  
無料  
※一部  
有料

富山県生涯学習カレッジ本部

☎076-441-8401

第32回 県民カレッジ学遊祭

期日 10月3日(土) 9:10～15:00

富山県教育文化会館

県民カレッジの講座受講者、生涯学習団体および一般県民が一堂に集います。上映会、ミニ講座に加え、今年度は「がばいばあちゃん」で有名な島田洋七氏の大型講座も開催します。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。

申込不要・入場無料(大型講座は有料・要申込、ホール上映は無料・要申込)  
<https://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>



令和元年度 開催風景

入場  
無料

富山県生涯学習カレッジ新川地区センター

☎0765-22-4001

第20回 新川キャンパスフェスティバル(カレッジ)

期日 10月31日(土) 10:00～15:00

新川地区センター主催の講座紹介をはじめ、生涯学習団体や自遊塾などの社会人による作品展示、郷土をテーマにした上映会、蟹気楼についての特別講座を行います。なお、上映会と特別講座は、申込が必要です。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。お待ちしております！



第19回新川キャンパスフェスティバルから

入場  
無料

富山県生涯学習カレッジ富山地区センター

☎076-441-0301

令和2年度 県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日 11月6日(金)～11月9日(月)  
6～8日 9:00～17:00 / 9日 9:00～15:00

展示発表、映写会を予定  
生涯学習団体の作品や活動報告を展示します。なお映写会(映画)の鑑賞を希望される方は、事前にご連絡ください。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。



令和元年度 開催風景

入場  
無料

富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター

☎0766-22-5787

令和2年度 ウイング・ウイング祭

期日 10月30日(金)～31日(土)  
30日 9:00～17:00 / 31日 9:00～16:00

高岡駅前複合ビル「ウイング・ウイング高岡」に入居する県民カレッジ高岡地区センターや高岡市生涯学習施設等が連携して開催するイベント。学習成果の展示発表や名作映画上映会を開催予定です。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。



生涯学習団体展示発表

入場  
無料

富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター

☎0766-61-2020

第20回 となみキャンパスフェスティバル(県民カレッジ)

期日 11月7日(土) 9:00～16:30

となみ野高校生の作品展示、朗読サークルによる朗読コンサート、懐かしい「加越線(鉄道)」に関する展示、DVD上映、砺波地区生涯学習団体と当センターの活動紹介展示を行います。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。



令和元年度 開催風景

# ～みんなで食育の充実を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

## 「毎日しっかり朝ごはん」運動

朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

朝食の役割や朝食摂取の食習慣の大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を配付しています。また、9月からの指導に活用できるように、8月中に県内の全小学1年生用の食育教材「食育ランチマット」を配付しています。

「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目から得られる朝食欠食率に関しては、本県では継続した取組の成果が現れているものの、限りなくゼロに近付ける努力が今後とも必要です。また、「朝食内容」の栄養バランスは、全小・中学生のうち、51.1%が「黄（炭水化物）・赤（タンパク質）・緑（野菜・果物）」、43.4%が「黄・赤」または「黄・緑」の朝食を摂取しており、計 94.5%が体を目覚めさせ、脳を活発に働かせる「炭水化物とおかず」の組合せであることが分かりました。（令和元年度調査結果より）

今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。



令和2年度配付食育ランチマット

## <朝食欠食率（「第3期富山県食育推進計画」の目標指標）>

	策定時(H28)	現 状(R1)	目 標
● 朝食を欠食する子どもの割合（小学校5年生）	0.8%	→ 0.9%	→ 限りなくゼロに
（中学校2年生）	2.0%	→ 2.2%	→ 近づける

## 新型コロナを乗り越える学校給食

学校給食は、児童生徒の健やかな育ちを支える重要な機能である一方、感染のリスクが高い活動でもあります。学校では、その実情に合わせ、児童生徒の適切な栄養摂取や食生活を支援できるよう、感染リスクに配慮しつつ積極的に検討をして給食を実施しています。参考として栄養教諭等を中心とした学校での取組を紹介します。

- ・ コロナに対応した給食指導（配膳、食事中、後片付け）の留意点や献立内容について、市町村教育委員会、管理職、関係教職員と検討し、担任や児童生徒が分かりやすいような資料（フロー図を使った掲示物や便り等）を作成した。教職員で共通理解の場をもち、児童生徒に説明し、給食時間の巡回指導を行っている。
- ・ 給食再開後は給食時間の指導を行うことが難しいと考え、年度当初に指導すべき基本的なマナーや水分補給の仕方等を入れた食育動画を作成した。
- ・ 文部科学省のガイドラインに沿って、献立内容を工夫した。品数を減らした献立から始め、徐々に通常に戻した。
- ・ 休校中の児童生徒の状況や保護者の食事についての困りごとやニーズについて調査し、第2波に備えて手立てを考えている。

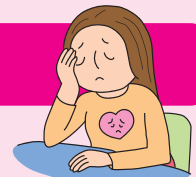
その他、給食便りやHPで、子供でも安心して調理できる簡単なメニューとレシピの紹介や、不足しがちな食品や熱中症予防についてなど健康的な生活に必要な情報を、多くの学校で発信しています。全市町村に配置されている栄養教諭等と協力し、安全・安心でおいしい学校給食をこれからも提供できるよう、よろしくお願いします。

## MAKE TOYAMA STYLE

BEYOND CORONA, WITH US

## ストレスチェックについて — 教職員のメンタルヘルス —

自分で心の健康状態をチェックすることは、ストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止に役立ちます。ストレスチェックを受検し、自分の健康は、まずは自分で守りましょう。



### 心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方が24時間いつでもできる心のセルフチェックシステムをインターネットで提供しています。初回の利用時は、「共済フォーラム」に記載されているログインID・パスワードでログインしてください。 <https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

### 教職員・心の健康管理医による個別相談

県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医に委嘱し、無料の個別相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。

利用について詳しいお問合せは、公立学校共済組合富山支部健康管理係まで TEL：076-432-7176

## 第37回「とやま賞」贈呈式

第37回「とやま賞」贈呈式が5月21日(木)富山電気ビルで行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、石井隆一富山県ひとづくり財団理事長が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。例年行われる受賞者による記念講演は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、贈呈式に先立って受賞者と石井理事長の懇談が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話しいただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績

を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られ、今回で37回を数えます。

詳しくは財団ホームページをご覧ください。<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/>



### 第37回「とやま賞」受賞者（敬称略）

学術研究部門（医 薬）	牧野 知紀（大阪大学）
（理 工）	小澤 祐市（東北大学）
科学技術部門	遠藤 洋史（富山県立大学）
文化・芸術部門（彫 刻）	森田 一成（会社員）
文化・芸術部門（建 築）	横山 天心（富山大学）
スポーツ部門（バドミントン）	保木 卓朗・小林 優吾ペア（トナミ運輸）



## リレーエッセイ 「楽しむ」

富山県小学校長会長 砺波市立出町小学校長 白江 勉

新型コロナウイルス感染症予防で、様々な行事等を実施できない日々が続いています。しかし、学校再開後の子供たちは元気です。教室内で冷房が効いているため、暑い中でもグラウンド等で友達と楽しそうに遊んでいます。そんな子供たちに対して、多くの先生方は、学びを保障すると同時に「学校は楽しい」と感じてほしいと願っていることと思います。ウィズコロナの今、より強く感じているのではないのでしょうか。

そのためにはまず、私たち教員自身が「学校は楽しい」と思いたいものです。私は、教員最後の年を迎えていることもあり、残りわずかとなった子供たちに会える日々を楽しんでいます。毎朝、児童玄関前で子供たちを迎えていると、心がほっこりする話をしてくれます。バレエを習っていた経験のある子は、華麗なターンを披露してくれます。

また、私は毎朝、四つの「相田みつを日めくりカレンダー」をめくることで、言葉のシャワーを浴びています。例えば、「しあわせはいつも自分のところがきめる」という言葉があります。この言葉に初めて出会ったとき、自分自身の「今日も楽しもう」という心が、毎日楽しくするエネルギーになっているかと思ったものです。言葉の力の大きさを感じました。楽しいと感じる心は、免疫力を高める効果も期待できます。

これからも、日々元気であることに感謝しつつ、学校を楽しみます。さて、これで「楽」の漢字を計10個使いました。この漢字を見ているだけでも幸せな気持ちになりませんか。

#### ■執筆者プロフィール

砺波市出身  
平成26年度 砺波市立庄南小学校長  
平成27年度～29年度 西部教育事務所次長・管理課長  
平成30年度 西部教育事務所所長  
平成31年度 富山県小中学校長協会会長・砺波市立出町小学校長  
令和2年4月～ 富山県小学校長会長・砺波市立出町小学校長

